

令和7年3月24日

国立大学法人佐賀大学
環境施設部

役職員宿舎に関するサウンディング型市場調査の結果について

【概要】

令和9年3月末で廃止の方針が決定している役職員宿舎4団地（大和町、鍋島、八戸溝、一本杉）について、当該用地の売却や有効活用法等を民間事業者との対話により調査する「サウンディング型市場調査」を実施したため、その結果を公表します。

【サウンディング内容】

実施期間：令和7年1月27日（月）～2月7日（金）

調査対象：大和、鍋島、八戸溝、一本杉の4宿舎

応募業者：全6社

対話時間：1時間程度

実施方法：アイデア及びノウハウ保護のため個別に対面で実施。

【主な提案概要】

対話の対象項目	提案概要
活用方法	活用方法には以下のような提案がありました。 ・既存建物を解体し、住宅分譲地やマンションとして活用する案 ・既存建物を解体し、学生寮や留学生宿舎として活用する案 ・既存建物をリノベーションし、賃貸住宅として運用する案 ・余剰敷地内に学生マンションを建築し販売する案
事業手法	事業手法には以下のような提案がありました。 ・大学側で既存建物を撤去してから売却する案 ・既存建物と土地一式を売却する案 ・既存建物を定期借地借家する案 ・余剰敷地を売却する案
活用対象	活用対象には以下のような提案がありました。 ・4宿舎を全て活用する案 ・一部の宿舎のみ活用する案